

社会貢献活動

セブン&アイHLDGS.は、社会・文化貢献活動を社会的責任の一つとして捉え、地域社会、国際社会との連携と協調を図り、良好な関係を維持することにより、積極的に平和で豊かな生活環境づくりを支援しています。

「東日本大震災」復興支援活動

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」の復興支援として、セブン&アイHLDGS.はお客様・お取引先とともに商品を通じた活動や、NPO・従業員と連携した活動に継続して取り組んでいます。

イトーヨーカドーをはじめグループ各社では、被災した企業や東北で生産される大手メーカー様の商品を集めた販売会「東北かけはしプロジェクト」を年2~3回開催しています。



東北かけはしプロジェクト

そごう・西武では、今、なお仮設住宅での生活を余儀なくされている福島県飯舘村の女性たちが作る衣料や雑貨小物などの販売に対し、デザイナーによる商品へのアドバイスから販売会場の提供まで、自社の強みを活かした支援をしています。



までい着*の販売会

*「までい」とは「大切に」「心を込めて」という意味の福島県の言葉

ヨークベニマルでは、福島県にある、郡山市元気な遊びのひろば「ペップキッズこおりやま」を支援しています。また、セブン&アイ・フードシステムズでは、各店舗や本部の社員食堂で「食べて被災地を応援しよう!」企画として、宮城県七ヶ浜の食材を使用したメニュー提供や、商品としてのわかめやのりの販売を行っています。

そのほか、セブン&アイHLDGS.では、一般財団法人セブンイレブン記念財団の「東日本大震災復興プロジェクト」に参加し、甚大な被害を受けた地域での復興支援活動を継続しています。さらに、グループ従業員との取り組みとして、ベルマークや未使用はがきなどを集め寄贈することで、子どもの教育支援と被災地で活動するNPO支援を行っています。

各団体と連携した取り組み

● ザンビアの子どもたちに靴を寄贈

そごう・西武とイトーヨーカドーでは、全店舗に「子ども靴」下取りコーナーを常設し、公益財団法人ジョイセフ*（以下、ジョイセフ）とともに「ザンビアの子どもたちに靴を贈ろう」プロジェクトに取り組んでいます。お客様からお預かりした靴は、ジョイセフを通じてザンビア共和国の子どもたちに贈っています。この靴は、はだしの子どもたちが足のけがが原因で破傷風や寄生虫病にかかることを防ぐために役立てられており、お預かりした子ども靴は、2009年から2015年8月末までの2社累計で55万6,326足になりました。

また、赤ちゃん本舗では、「赤ちゃんの肌着をザンビアへ届けよう!」を行っています。



* 途上国の女性、子どもの命と健康を守る活動をしている日本生まれの国際協力NGO

●「アベスコ基金」の取り組み

イトーヨーカドーでは、2000年に飲料メーカー6社と共同で「セブン&アイ アベスコ基金[※]」を設立し、店舗に設置した特定の自動販売機の収益の一部を国際人道支援活動に取り組み団体へ寄付しています(2015年8月末現在、約400台)。

2015年9月には、公益財団法人プラン・ジャパンなど国際人道支援に取り組み3団体へ支援金974万円を寄贈しました。



自動販売機の活動告知

※ イトーヨーカドー-自販機収益による寄付支援協議会

●「ホワイトリボン運動」への協力

赤ちゃん本舗とそごう・西武では、ジョイセフが推進している、世界中の妊産婦と赤ちゃんの命と健康を守る運動「ホワイトリボン運動」に賛同し、ジョイセフとのパートナーシップのもと「アフリカ・ザンビアにマタニティハウス(出産待機施設)を贈ろうプロジェクト」の活動を応援しています。店頭やインターネットでの募金受付を実施するほか、2015年8

月末現在、店内外に78台(赤ちゃん本舗54台、そごう・西武24台)のホワイトリボン支援自動販売機を設置し、飲料をお買い上げ1本につき2円(飲料メーカー1円+設置した事業会社1円)をジョイセフに寄付しています。また、そごう・西武では、オリジナルの「ホワイトリボンピンバッジ」を作成し、収益全額を「ホワイトリボン運動」に寄付しています。



ホワイトリボン支援自動販売機



ホワイトリボンピンバッジ

●盲導犬の育成支援

セブン&アイHLDGS.は、盲導犬の育成支援のため、店頭募金を実施しています。

また、そごう・西武では、この活動の輪を広げるために、全店で春と秋の年2回「盲導犬ふれあいキャンペーン」を開催しています。訓練士のデモンストレーションや盲導犬PR犬との体験歩行を通じて、視覚に障がいのある方と盲導犬に対する理解を深めていただくとともに、育成事業へのご支援を呼び掛けています。



盲導犬ふれあいキャンペーン

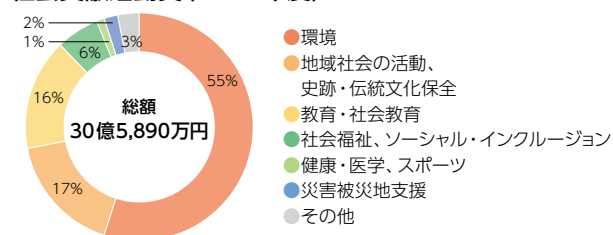
●スポーツ振興の取り組み

セブン&アイHLDGS.は、「東京マラソン」や「埼玉県国際ジュニアサッカー大会」、「内閣総理大臣杯日本車椅子バスケットボール大会」に協賛し、スポーツを通じて青少年の育成や障がい者スポーツの振興に取り組んでいます。



東京マラソン

社会貢献活動費(2014年度)



※ セブン&アイHLDGS.、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカドー、そごう・西武、ヨークベニマル、セブン&アイ・フードシステムズ、セブン銀行、ヨークマート、赤ちゃん本舗の合計額。
計算方法は(一社)日本経済団体連合会「2014年度社会貢献活動実績調査実施要項」に準拠。